



会の告知版

8月 4日(日) 第5回東久留米稲門会雑学塾

15:00~16:30 於 中央公民館

演題「わがまちー東久留米の残すべき原風景(林、畑、川、湧)・残せる可能性」

講師 佐藤 雄二氏 (当会員 37年理工、湧水を守る会会長)

4日(日) 役員会

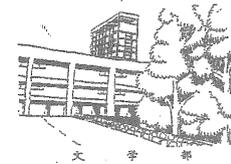
[部会スケジュール]

グルメ部会	6月29日(土)	午後1時より	清瀬「イル カバロ ビアッコ」
太極拳部会	毎月第二・第四土曜日	10:00~11:30	成美教育文化会館 (但し6月に限り第三・第五土曜日)
	第一・第三木曜日	10:00~11:30	同上
書道部会	毎月第二日曜日	13:30~16:00	中央公民館(原則)
俳句部会	7月21日(日)	13:30~17:00	中央公民館
囲碁部会	毎月第四日曜日	13:00~16:30	成美教育文化会館

[大学・校友会関係]

6月14日(金) 総長決定選挙

7月 6日(土) 総長招待都内稲門会会長会/商議員会



第8回定時総会 会長挨拶

高橋 勤

本日はお忙しいところ、また雨で足元が悪いにもかかわらず東久留米稲門会の総会に参加していただき有り難うございました。なお、本日は大学より副総長白井克彦様、総長室調査役大貫正雄様、又近隣稲門会の会長様並びに役員の皆様に参加していただき、高い壇上からではありませんが、御礼申し上げます。

さて私、昨年に会長に就任し、いくつかの新しい事業を立ち上げようと考えていました。この1年間で私が考え計画したいくつかの事業は現在順調に動き出したと言ってよいかと思えます。最初に手掛けたい事業としては、東久留米稲門会のホームページを立ち上げることでした。幸い監事の松崎さんが立ち上げに努力されて、昨年11月3日に開設いたしました。ホームページは対外的に、本会の情報を外に向かって発信していく重要な通信手段であります。会の行事、東久留米雑学塾の講演会の日程等を外に向かって発信して行くのです。

2番目の事業としてホームページの開設に併せて「東稲ニュース」を発行することでした。「東稲ニュース」は比護副会長を中心に編集作成されて、隔月に発行されています。この4月に第5号が発行されました。「東稲ニュース」はホームページと両者一体となって相互に補完

しあって、情報を発信していくのです。「東稲ニュース」は対内的に、会員の皆様に対してニュースを提供していくのです。内容は会の行事のお知らせ、各部会の行事や活動報告、会員の随筆、会員の声、雑学塾の講演の要約、大学の情報等々です。会と会員、会員と会員との情報の広場となればと思っています。

3番目には東久留米雑学塾の講演会を開始したことです。この雑学塾は各方面の講師をお招きして偶数月の第一日曜日に講演会を行っています。地域社会にも広くPRして多くの市民の方々に来ていただき、また市民の講師の人達にも講演の場を提供して、地域社会に対して文化的貢献が出来ればと思っています。雑学塾は帆角事務局長が責任者として活動しています。今回、坂本信太郎名誉教授の2回にわたっての講演の「川柳から見た江戸の庶民」の講演録が1部、2部と出来上がりました。江戸時代の川柳187句が解説されています。また早稲田大学体育局元講師で本会会員の馬場清彦さんの講演録「私の幻のオリンピック」も出来上がりました。この講演録3冊で実費500円でお分けすることになりました。後ほどお話があると思いますが皆様協力して下さい。

次に4番目には部会を増やすことも重要なことと思います。稲門会の活動の基本となるのは部会活動です。部会の活発化、部会員の増強が組織の強化につながるものと思っています。従来からある6つの部会は安定した活動を展開していますが、昨年度はさらに太極拳部会、グルメ部会、郷土研究会がスタートしました。カラオケ部会も今年活動を開始しています。本年度も部会の増設には力を入れていきたいと思っています。

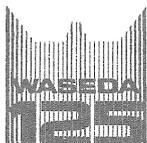
それと、5番目には経費の削減策としてポストマン制度を導入したことです。会の経費で一番支出の多いのは通信費なのです。当会の会員の皆様に配布する郵便物はポストマンが配達しているのです。この制度を成功させるためにも皆様のご協力が必要です。是非手を挙げて参加して下さい。

本年度の当会の運営については、いま話してきました、以上の5つの事業を着実に継続し、それらの内容をますます充実するよう努力することが大切だと思っています。

ここで大学の125周年記念募金についてすこし触れておきたいと思います。東久留米稲門会は、この募金事業には全面的に協力して行きます。当稲門会の募金への協力の方法としては、年会費に2000円を上乗せして、その2000円を募金の期間、大学に寄付して行きます。今までで、当稲門会から大学への寄付は平成12年度は22万4000円、平成13年度は29万4000円を会員皆様の名義をもって寄付をしましたので、皆様のお手元にその領収書が届いているかと思います。この場をお借りして会員の皆様のご協力で改めて感謝と御礼を申し上げます。

最後に、13年度の収支決算にて別途積立金の合計金額が200、142円になりましたこと、そしてこの積立金を、この4月7日の役員会にて今年度大学に寄付することが全員一致で承認されましたことをご報告致します。皆様のご了承もよろしくお願い致します。

今後とも会の行事に皆様のご理解とご協力をお願いして、これをもちまして私の挨拶と致します。どうも有り難う御座いました。



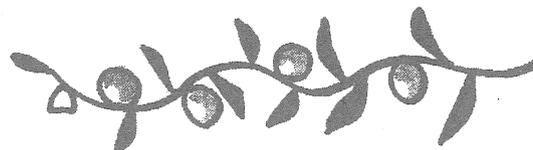
早稲田大学125周年記念事業募金

4月7日開催の役員会において平成13年度収支決算における別途積立金

200、142円を掲題記念事業に募金協力することが承認され、同21日、

14年度定期総会にて報告、了承されました。5月7日、平成14年の利息8円を加算して200、150円を大学に寄付いたしました。
ここに改めて会員の皆様にご報告し、同時に感謝の意を表します。

会の行事



第8回定時総会開催

4月21日(日)午後2時から市内成美教育文化会館で第8回定時総会が開催された。当日は雨という悪天候にもかかわらず、早稲田大学から白井克彦副総長、大貫政雄調査役、清瀬稲門会から中根政雄会長、小平稲門会から西村弘会長、東村山稲門会から山下邦康副会長、鈴木国夫幹事、西東京稲門会から真山泰監査役、竹島亜機雄幹事が来賓として臨席されたほか、71名にも及ぶ会員の方々が参加した。

総会前に開催された恒例の講演会では、当会顧問で早稲田大学名誉教授の榎本隆司先生が、「よしなしごとーいのちひとつ」という演題で兼好法師から近代の五味川純平に至るまで数多くの歌人、作家の生き方を味わい深く語り、聴衆に多くの感銘を与えた。

講演会の後に開かれた総会では、前掲の高橋会長の挨拶に続いて議事に入り、平成13年度事業報告と収支決算報告並びに別途積立金200、150円の大学寄付、平成14年度事業計画案と収支予算案が上程され、いずれも承認された。最後に役員補充の提案が承認され、全ての議事が終了した。終わりに白井副総長から祝辞をいただき、総会は閉会となった。

場所を3階のパーティ会場に移し、総勢80名が参加して、懇親会が始まった。まず小平稲門会の西村会長に祝辞をいただき、清瀬稲門会の中根会長の乾杯の音頭で全員が一斉に杯をあげ、開宴となった。いつになく多い参加者で会場は一気に盛り上がり、親睦の輪は勢い膨らみをみせた。途中、新しく会員になった8名の方々の自己紹介が行われ、最後に全員で肩を組み、「都の西北」を高らかに斉唱して、7時前懇親会は盛況の裡に終了した。

大学・校友会の行事

2002年稲門祭第一回実行委員会開催

4月25日(木)午後6時半から早大キャンパス内で開催され、当会より帆角事務局長、森田幹事、安次峰幹事が出席。

なお、稲門祭は、ホームカミングデーと同時開催で、10月20日(日)大学キャンパスで開催される。今年の稲門祭のコンセプトは「スポーツ」、キャッチコピーは「サインは、W。」。

今年のホームカミングデー招待対象年度は昭和28年(卒業後50年目)、33年(同45年目)、43年(同35年目)、53年(同25年目)卒業の校友だが、勿論該当年度以外の方も参加できる。

当日は模擬店(大隈庭園にて)、アトラクション(13時より大隈講堂にて各種イベント、車他が当たる福引抽選会)がある。

<事務局よりのお願い>

現在、福引券(1枚2千円)が発売されており、当会に割り当てられた福引券数は60枚となっています。福引券購入につき、皆様の格別のご協力をお願いいたします。購入い

ただいた方々には、もれなく参加賞(下記)が用意されています。参加賞、当選賞は後日責任を持ってお届けいたします。

<参加賞>

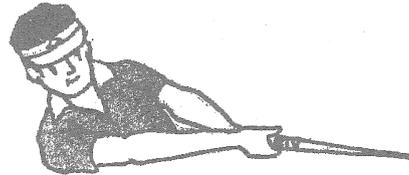
- 福引券5枚購入者(1万円コース) 腕時計「どこでも血圧計」セット
- 福引券2枚購入者(4千円コース) カジュアルキャップ/ゴルフキャップ/
ビーチタオル(特大)/江戸切子のうち1品(選択)
- 福引券1枚購入者(2千円コース) 折畳み傘/Tシャツ(紺か白)/
早大W茶(狭山茶)のうち1品(選択)

お問い合わせとお申し込み: 帆角 (75-5897), 森田 (75-0974), 安次峰 (71-5887)

近隣稲門会総会開催

西東京稲門会が5月12日(日)早稲田大学東伏見キャンパスで開催。当会より帆角副会長が出席。

部会便り



女性サークル部会

今年は春を彩る花々の開花が早く、私たちはそれを追いかけるようにして観賞を楽しみました。当部会では秋、10月下旬、鎌倉の古寺めぐりを予定しています。さまざまな花が咲き競う境内の散策、今から楽しみです。ご参加をどうぞ! (部会長 棚野愛子)

ゴルフ部会

春恒例のゴルフ会が、4月4日(木)廣済堂埼玉ゴルフ倶楽部で行なわれました。新年度早々の開催だったせいか、参加者は14名といつになく少なかったため、コンペ方式を取り止め、3組に分かれてプレーを楽しむ形に変えました。初参加者は松崎さん、平山ご夫妻の3人でした。当日は強い風が吹き荒れる悪天候となり皆苦戦しましたが、白石さんは強風を味方に付けて快調にプレーを続け、後半ハーフを40で回り、実力者ぶりを発揮しました。平山夫人がドラコンを取り、並み居る男性の度肝を抜くという場面もありました。

プレー後、西武秩父駅近くのチャンコ料理屋”玉輝山”で打ち上げ会を開き、楽しい一日を過ごしました。(帆角信美記)

散策山歩き部会

4月6日(土)良い天気恵まれて「天覧山・多峰主山(とうのすやま)ハイキング」が参加者16名にて行われた。

飯能駅改札口前にて人数確認後、観音寺境内にて準備体操を行い、風格のある能仁寺を経由、明治天皇が行幸された天覧山に登り、更に尾根沿いに歩いて多峰主山の頂上にて昼食をとった。天覧山、多峰主山の頂上からの見晴らしは大変に良く、遠くに見える山並みがとても素晴らしかった。

全員が輪になって雑談しながらの食事は「早稲田の男は素晴らしい」(反対だったかな?)等最近の話題が出て大変楽しかった。

ウグイスの鳴き声を聞きながら、新緑の山道のハイキングは命の洗濯をした思いがした。帰路は入間川の吾妻峽を通り、飯能河原へ出て一休みした後解散した。所要時間約5時間のとても楽しい一日を過ごすことができた。(森田隆記)

* * * * *

春・秋年2回のハイクを行って来ましたが、皆さんのご要望に応じて、この秋はグルメ部会と合同で特別企画を予定しております。マイクロバスを利用し、散策、温泉、グルメと欲張ったプランを企画中。乞うご期待。奮ってご参加下さい。(部会長 川上昇一)

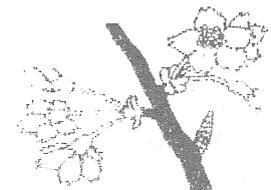
俳句部会

花曇りの3月31日、狭山市の稲荷山公園(ハイドパーク)で春の吟行を実施しました。当日の参加者は13名。今年の桜の開花は異常に早く、稲荷山も既に葉桜では(?)と懸念されましたが、3月下旬の引き締まった気候が染井吉野の花を長持ちさせ、遅咲きの里桜、山桜、八重桜なども咲き揃っての百花繚乱となっていました。

ゆったりと起伏しながら随所に憩いの広場を造っている芝生はよく手入れが行き届き、桜を広げた老松の緑を背景にして研を競い合う万朶の桜、折りよく当日挙行されていた「稲荷山公園桜まつり」を囁す和太鼓の音に誘われるかのように舞い散る花吹雪……。

三々五々芝生に弁当を広げての談笑は吟行の醍醐味ながら、肝心の俳句の方は眼前の光景に目移りするばかりで焦点が絞りきれません。素材となる対象が豊富すぎても句作は苦勞するものと勉強させられた稲荷山ではありました。午後は公園に隣接する狭山市ユースプラザに席を移し、各自三句の自信作を持ち寄っての句会を開催。爛漫の春を満喫した当日の高点句(四点句以上)は以下の通りとなりました。(三田 三記)

幹に掌をあてて散る花惜しみけり	太田蔵之助(千雪)
しきりなる落花の中に人を待つ	”
あと幾たび今日爛漫の花の下	三田 三(畔巢)
さんざめく人の頭上や花万朶	坂本信太郎



書道部会

年初から武藤部会長の主な指導方針;

(一)「運筆と表現の変化を古典から学ぶこと」の指針のもと、中国の晋朝の書聖といわれている王羲之の法帳「蘭亭叙」と「集字聖教序」(両者とも行書体)の臨書の手本を中心として、古典の運筆(起筆。送筆。収筆。)などの精髓を感動的に学び修得しております。

600年以上も昔の美書に惚込んでます。

(二)「臨書から創作者への挑戦が肝要である」の指針のもと、部会長が書いた名言漢字(行・草体)を臨書するとともに、一流書家の流麗な同一字形が数種集字され紹介されます。文字の大小の変化・全体構成の変化、一字一字の明るさ、を基本にしてデザイン創作した書を自習するよう勧められています。従来より難しくなりましたが、難解な”くずし字”の知識も深まるかなと意欲も湧いてくる次第です。(深沢政次記)

囲碁部会

4月の囲碁部総会で、安藤前会長から会長職を引き継ぐことになりました。氏は平成8年の当部会発足以来今日まで、会長として囲碁部の発展に多大の貢献をされてきました。しかし、この度は、健康上の理由による辞意が固く、残念ながらこれを受け入れざるを得ません

でした。

前会長とは副会長として一緒にやってきた関係でもあり、当面は従来の路線を深耕していくつもりです。即ち、月一回の研修会(校友の日本棋院普及指導員指導碁あり)、年一回の泊まりがけ囲碁大会、対外試合(オール早稲田囲碁祭への参加、近隣稲門会との交流)等々、これらを通じて会員各位(現在16名)が囲碁を楽しみながら棋力の向上が計れればと思っています。今ひとつの試みとして、月例研修会での段級位によるハンディ戦から、より木目細かい点数制による対局を検討中です。(部会長 辰巳徳蔵)

太極拳部会

昨年発足した当部会も、今月で10ヶ月目を迎えることになりました。多数の皆様のご参加を得て、楽しく気持ち良く稽古をしております。約一時間半の稽古を行うと、ゆっくりした動きですが、終了後体中がぼかぼかと温かくなり、心地よい感じになります。また休憩時間での雑談も心が和みます。

太極拳がラジオ体操と違う点は「心・息・動」の三位一体を目指すことです。「心」は全てを無にして空っぽにします。体をリラックスすることで気の流れが良くなり、血液の流れを導きます。「息」は呼吸です。呼吸は単に新鮮な空気を吸い込むだけでなく、宇宙の中の気を体内にとり入れる気持ちでゆっくり行います。「動」は体から力を抜き、手の指先、足の指先まで気血をめぐるしながら、ゆったりと動きます。

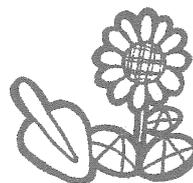
初めての方でも周りの人の動きを真似して行えば、ついていけますので参加をお待ちしております。(森田 隆記)

グルメ部会

第3回グルメ探訪・イタリア郷土料理の会は締め切りました。

清瀬のイタリアンレストラン・イル カバロ ビアンコを訪ねる会は大変人気が高くて申し込みが多数あり、満員となりましたので、締め切らせていただきました。折角申し込んでも間に合わなかった方が居られましたので、次回はもっと大勢が参加できるような会を実施したいと思います。今秋を予定していますが、企画がまとまりましたらご案内しますので、その節は早めにお申し込み下さるようお願いいたします。尚 6月29日(土)にご参加の方は12時55分 清瀬駅改札口にお集まり下さい。(部会長 神田尚計)

噴水広場



「不思議な体験をした私」

菱山 房子 (会員 S32年文)

早や6号を重ねた噴水広場には、毎号楽しく機智に溢れる記事が掲載されてきました。でも今回だけは愉快でないお話で許していただきたいと思います。

唐突ですが、私も命とは限りあるものと重々承知してはいました。でもそれは観念に過ぎず、切実さも実感も伴っていませんでした。

その時は何の予知もなく、残暑の酷しい一昨年八月のある日の昼下がりにやって来たのです。ここからは家人の話ですが、私が深呼吸とも黙ともつかぬたった2、3度の息使いの後、意

識不明になり、間もなく呼吸も止まりました。後日談ですが、救命医の本に、これは三途の川を渡りもう向こう岸に着いた状態で昔ならここで一卷の終わりと書いてあるのを見ました。到着した救急救命士は心肺が停止しているのを確認すると少しも慌てず心臓マッサージを行い、次いで電気ショックを施しました。心肺蘇生術が成功して私のボロ心臓の拍動が再開したので、運び込まれた病院では、壊れたロボットの修理でもするようにいちかばちかの低体温療法を決行した(救急救命医の言葉)のでした。

私の入院診療計画書には「深昏睡」、「少なくとも数分は脳への血流は途絶えた」、「元通りの意識の回復は極めて困難」、「予後は死→脳死→植物状態」等の文字が並んでいます。一週間が過ぎ、意識の回復は期待できないと聞いた家族は、コロッと逝きたいと言っていた私の言葉を思い延命処置の承諾書への捺印を保留しました。ところが予想に反してその翌日、呼びかけに笑顔を返し、家族をびっくり仰天させたのです。

ICU(集中治療室)とCCU(心臓集中治療室)での3週間、急性心筋梗塞という症状の中、私は不思議な体験をしました。人は今際の際、何を見、何を聞き、何を思うのでしょうか。

後日、私は立花隆著「臨死体験」を読み、私の場合もこの「臨死体験」といわれるものに違いないと思いました。それはNHKスペシャルでも採り上げられ、2000万人もの人々が視聴したという「体外離脱」という奇妙な現象です。私は意識が回復するまで当然入院中であることなど知らなかったのですが、その私が何と病院のベットをすりと抜け出し、椿の花の咲き乱れる家を訪ね上品な老夫婦に会ったのです。また石仏の並ぶ洞穴で、とある肌の温かい石仏から「またいらっしゃい」と声を掛けられて、大急ぎで病院のベットに戻り、そしてスパゲッティのように身体に着けられていた幾筋の管を元通りに取り付けました。何と現実の私の姿を上の方から別の私自身が見ているのです。

これは幻覚だったのでしょうか。そうだとすると、幻覚とは自分が覚醒していると錯覚している中で、鮮やかに現実の世界を認識しているものだと、実に不思議な思いが致します。脳医学はドーパミンによる自己像幻視、またはエンドルフィンのもたらす快感等と説明していますが、いずれにしても脳とは何と複雑なものでしょう。

私達は人、物、金、情報等々を基盤に暮らしています。が、臨死状態では、水、光、花、善き人等と、時空を超えた世界があるということ、私の体験は教えてくれました。人は今際の際で、生命の存在の根源的なものに出会い、自然への回帰の予感を抱くのではないかと思います。

立花隆氏も、救命医も現代科学では解明できないことがあると記していますが、私も千載不決の事象があると思うようになりました。因みにギャラップの調査によると、死後の世界を信じるかとの問いにアメリカ人は67%が yes と答え、医師と科学者だけを対象とした調査でもそれぞれ32%と15%が yes という結果だそうです。一方日本人は、同時期の日本数理研究所の調査によると、わずかに12%という数字です。日本人は非宗教的な国民性なのでしょう。

今回の数奇な体験が私にもたらしたこと、それは限りない命へのいとしさです。病室の窓から見た、秋雨の中、足早に過ぎ行く人々の通勤風景も、近くの鎮守の秋祭りの太鼓も提灯も、宵闇の中お詣りする善男善女の気配も、冠雪の富士山も、生きて平凡に過ごす一日の幸せを心底思わせてくれたものでした。

いま私が半ば笑顔でこんなことをお話できるのは発症時の適切な対応、救命士のご努力、素晴らしい現代医学の恩恵、そして何よりも多くの人達の励ましを戴いたからなのです。

私は今、稲門の皆様はじめ、お世話になった多くの方々から心から感謝する日を元気に過ごしています。



東稲広報室

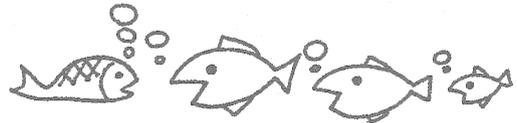
* 会員異動

<平成14年度新入会員>

桜庭 明	滝山5-8-15	73-3584	28年政経
高塩 和己	前沢3-6-11	74-3857	28年商
市川 三郎	浅間町2-29-2	23-4530	30年商
笹川 幸明	小山1-9-2	71-1052	31年工高機械
小林 利彦	南沢5-11-15	64-1351	34年法研修
納見 明德	東本町5-20-409	72-9423	37年教育
平井 功	新川町1-14-9	74-1792	40年商
有田 敬弘	前沢4-11-13	71-6226	57年政経
吉田 利宏	金山町1-8-4	72-6685	62年法
松崎 勉	氷川台2-36-18	72-8432	63年政経
丹 論	前沢4-9-6小寺ビル305	78-3128	H 3年理工
長岡三四郎	滝山6-2-13-505	75-6312	H 7年法

<新役員>

[幹事]	松崎 博	35年理工	(会計監事より異動)
	平山 正徑	40年政経	(新任)
	石寺美弥子	53年文研修	(新任)
[会計監事]	神田 尚計	32年政経	(新任)



会員の声

東稲ニュース第5号 安宅名誉会長の「地域稲門会の役割」を読ませて頂き、地域社会での活動に定年はないこと、全く同感致しました。私はまだ現役ですが、20数年来の仕事辞めてからの人生の送り方とか生き甲斐とかについて考えています。それまで近所の方々と挨拶程度の付き合いしかなくて、いきなり地域社会で何かしようと思っても、それはとても難しい事だと思います。

実は、私が東久留米稲門会に加入させて頂いた大きな理由はこの辺にあって、職場だけでの付き合いでは、退職後辛いものがあるのではないかとということでした。地域社会に帰っていく所を見つけることの重要性、当に安宅名誉会長のおっしゃる通りと思います。

ただ同じ大学を出たと言うだけで稲門会に入るのには疑問を感じ、入会することに迷っていた私ですが、趣味として囲碁を楽しんでいた関係で、東久留米稲門会に囲碁部が発足したことが入会の契機となりました。囲碁を通じて出会いがあり仲間ができて、地域社会で帰る場所が見つかったのです。私にとって稲門会加入は大変良い結果になったのです。

市に在住の卒業生が約千人。内稲門会加入者170名。ちょっと寂しい加入率ですが、理由は部会、同好会の数や種類が少ないことにあるのではないのでしょうか。音楽が好きな方も多いはず。釣りが趣味の方も多いと思います。将棋部なんかも結構いいのではないのでしょうか。多様な趣味の部を作り、趣味を通して会員の輪を広げるのが一番いいと思います。(酒井健一平2社学、H14.4.11 e-mail要旨)

【編集後記】六大学野球で6シーズンぶりに早稲田が優勝した。優勝もさることながら、紺碧の空の下、名も知らぬ校友とも肩を組んで、共に「都の西北」を唱う...この一体感がなんとも嬉しい。時、恰も「FIFAワールドカップ2002」の日本開催。がんばれニッポン!